

な わ し ょ う つ う し ん

# 暁小通信

令和7年度 第13号

令和8年 1月 8日発行

四條暁市立四條暁小学校

校長 香村 紀子

あけまして おめでとう ございます

あたら <sup>とし</sup> あ  
新しい年が明けました。

それだけでなんだか気持ち <sup>き</sup> がスツと清々 <sup>すがすが</sup> しくなるの <sup>かん</sup> を感じます。

ことし <sup>じっかんじゅうにし</sup> <sup>ひのえうま</sup> <sup>とし</sup>  
今年は、十千十二支でいうと「丙午」の年です。

2026年 <sup>ねん</sup> <sup>ひのえうま</sup> <sup>とし</sup> の丙午の年ってどんな年 <sup>とし</sup> って言われているのか <sup>い</sup> 、調べてみました <sup>しら</sup> 。



じっかん <sup>ひのえ</sup> <sup>い</sup> <sup>み</sup>  
十千「丙」の意味

「丙」は火 <sup>ひのえ</sup> をつかさどる文字 <sup>か</sup> で、太陽 <sup>も</sup> のような明るさ <sup>たいよう</sup> 、情熱 <sup>あか</sup> 、決断力 <sup>じょうねつ</sup> を象徴 <sup>けつだんりよく</sup> し、生命 <sup>しょうちよう</sup> の力強い成長段階 <sup>せいめい</sup> を表 <sup>ちからづよ</sup> します。また、草木 <sup>せいちよう</sup> が成長 <sup>げんかい</sup> の限界 <sup>こ</sup> を超えて外 <sup>そと</sup> へ広がっていく段階 <sup>ひろ</sup> を示 <sup>だんかい</sup> します。種 <sup>しめ</sup> から芽 <sup>たね</sup> が出来 <sup>め</sup> て、若葉 <sup>わかば</sup> が育 <sup>そだ</sup> ち、ついに茎 <sup>くき</sup> が伸びて花 <sup>の</sup> を咲 <sup>はな</sup> かせようとする <sup>さ</sup> 、そのエネルギー <sup>さ</sup> に満ちた状態 <sup>み</sup> です <sup>じょうたい</sup> 。

じゅうにし <sup>うま</sup> <sup>い</sup> <sup>み</sup>  
十二支「午」の意味

「午」は太陽 <sup>うま</sup> が最も <sup>たいよう</sup> 高く昇 <sup>もつ</sup> る正午 <sup>たか</sup> を表 <sup>のぼ</sup> し、陽気 <sup>しょうご</sup> ・情熱 <sup>あらか</sup> ・前進 <sup>ようき</sup> ・飛躍 <sup>じょうねつ</sup> といった力強いイメージ <sup>ぜんしん</sup> を持つ干支 <sup>ひやく</sup> です。南 <sup>ちからづよ</sup> の方角 <sup>あか</sup> や真夏 <sup>も</sup> のピーク <sup>えと</sup> を指 <sup>さ</sup> すといわれています。エネルギー <sup>みなみ</sup> が最高潮 <sup>ほうかく</sup> に達 <sup>まなつ</sup> する状態 <sup>さ</sup> を表 <sup>さいこうちよう</sup> し、馬 <sup>たつ</sup> のイメ <sup>じょうたい</sup> ージ <sup>あらわ</sup> からスピード <sup>うま</sup> 、行動力 <sup>こうどうりよく</sup> 、社交性 <sup>しゃこうせい</sup> 、勢い <sup>いきお</sup> や力強さ <sup>ちからづよ</sup> を象徴 <sup>しょうちよう</sup> します。

「丙」も「午」も火 <sup>ひのえ</sup> の性質 <sup>うま</sup> をもつことから <sup>ひ</sup> 、<sup>せいしつ</sup> 「2026年丙午」は情熱 <sup>ねんひのえうま</sup> や行動力 <sup>じょうねつ</sup> が高まり <sup>こうどうりよく</sup> 、勢い <sup>たか</sup> のある一年 <sup>いきお</sup> と解釈 <sup>いちねん</sup> されているようです <sup>かいしゃく</sup> 。

馬 <sup>うま</sup> が颯爽 <sup>さつそう</sup> と野原 <sup>のほら</sup> を駆け抜 <sup>か</sup> ける光景 <sup>ぬ</sup> を想像 <sup>こうけい</sup> するだけで <sup>そうぞう</sup> 、その力強さ <sup>ちからづよ</sup> と爽快感 <sup>そうかいかん</sup> をイメージ <sup>そうかいかん</sup> することができます <sup>そうかいかん</sup> 。

そのエネルギー <sup>み</sup> に満ちた <sup>ねん</sup> 2026年 <sup>ひとり</sup> が一人 <sup>ひとり</sup> ひとり <sup>ひとり</sup> にとって <sup>ひとり</sup> 、自分 <sup>じぶん</sup> の力 <sup>ちから</sup> を存分 <sup>ぞんぶん</sup> に発揮 <sup>はつき</sup> し、目標 <sup>もくひよう</sup> を達成 <sup>たっせい</sup> したり <sup>たっせい</sup> 、

気持ち <sup>き</sup> を熱く <sup>あつ</sup> したりする場面 <sup>あつ</sup> に出会 <sup>ばめん</sup> える <sup>であ</sup> 、そんな年 <sup>とし</sup> になることを願 <sup>ねが</sup> いながら過 <sup>す</sup> ぎていきたい <sup>おも</sup> と思います <sup>おも</sup> 。

そして令和7年度 <sup>れいわ</sup> はあと三 <sup>ねんど</sup> か月 <sup>さん</sup> の三学期 <sup>げつ</sup> が始まり <sup>さんがつき</sup> ました <sup>はじ</sup> 。学年 <sup>がくねん</sup> のまとめ <sup>がつき</sup> の学期 <sup>つぎ</sup> であり <sup>がくねん</sup> 、次の学年 <sup>む</sup> に向 <sup>む</sup> かう

準備期間 <sup>じゅんびきかん</sup> でもあります <sup>じしん</sup> 。ひとつ <sup>も</sup> ずつ自信 <sup>え</sup> の持 <sup>まな</sup> てること <sup>つ</sup> を得 <sup>かさ</sup> ながら <sup>こ</sup> 、学 <sup>まな</sup> びを積 <sup>つ</sup> み重ね <sup>かさ</sup> ること <sup>こ</sup> ができ <sup>こ</sup> るよう <sup>こ</sup> 子 <sup>こ</sup> ども

たち <sup>きようしよくいんいちどうと</sup> とともに教職員 <sup>すす</sup> 一同 <sup>こんご</sup> 取組 <sup>りかい</sup> めを <sup>きようりよく</sup> 進 <sup>ねが</sup> めてま <sup>ねが</sup> いります <sup>ねが</sup> 。



かなざわ  
金沢は

# ゆき しょうがつ 雪のお正月でした

まいとし しょうがつ かなざわ きせい  
毎年お正月は、金沢に帰省します。



すうじゅうねんまえ まいとしゆきみち くるま はし おも  
数十年前は毎年雪道を車で走っていたように思うのですが

ここしばらくは、ゆき しょうがつ くも そらもよう  
雪のあるお正月はまれです。曇りがちな空模様

ゆき おお ことし おおゆき  
でも雪のないことが多いです。ところが今年は大雪。



ばんそと と くるま いじょう せきせつ しゃ まえ ゆき づ うえ しゃしん くるま うご  
ひと晩外に停めていた車には、20センチ以上の積雪。車の前にも雪が積もり(上の写真)、車を動かす

ゆき よ さぎょう ひつよう ひとくろう じゅうたくがい はい した しゃしん じゅうみん  
のに雪を除ける作業が必要で一苦労しました。住宅街に入ってみると、下の写真のようにたくさんの住民の

かた どうろ で ゆき いえ げんかん で  
方が道路に出て雪かきをされています。家の玄関から出よ

うにも、くるま うご ゆき うご  
うにも、車を動かそうにも、まずは雪かきをしなくては動く

ができないほどの積雪でした。なか じたくまえ  
ができないほどの積雪でした。中には、ご自宅前だけでな

まわ いえ まえ ゆき かた  
く、周りの家の前の雪かきをしている方もおられました。

ゆき おも おも げんかん そと で つうろぶん  
雪は思っているより重く、玄関から外に出る通路分を

ゆき たいへん となり いえ つうろ ゆき かた おも さぎょう  
雪かきするだけでもかなり大変です。なのに、隣の家の通路まで雪かきしてくださる方の思いと作業のあり

がたいことと言ったらありません。



さいがい お まち つよ ひと み こうけい  
災害が起きたとき、こんな町は強いだろうなあ。人のつながりの見える光景でした。

## 3学期 スタート!



さん がつき しぎょうしき  
三学期の始業式でした。

ひ かぎ あさ ひ こ きび さむ あさ  
そんな日に限って朝の冷え込みが厳しく、寒い朝でした。

ふゆやす お すこ ざんねん ひようじょう こ  
冬休みが終わるのが少し残念な表情もありましたが、子どもたちは

とも かお あ えがお さむ うんどうじょう  
友だちと顔を合わせると笑顔いっぱいになりました。寒くっても運動場に

で 出てきて、あそ こ げんき すがた しぎょうしき  
出てきて、遊ぶ子どもたくさんいて、子どもたちの元気な姿にパワーをもらいます。始業式では、

うまどし はこねえきでん はなし し こえ き え と  
「午年」のことや「箱根駅伝」のお話をしました。「知ってるー!」という声も聞こえてきて、千支

のことをおうちで聞いていたり、箱根駅伝の中継を見たりしたんだなあ、とお正月の様子があう

かがえました。しばらく気温の低い日が続くという天気予報です。体調を崩さないように、

てあら はやねはや お あさ こころ さんがつき  
「手洗いうがい・早寝早起き・朝ごはん」を心がけて、いい三学期のスタートを!